
その臨む絶望

希羽

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

その臨む絶望

【Nコード】

N1567I

【作者名】

希羽

【あらすじ】

たまに生きるの辛いときとか

あるよね。

三題話参「幻想」「自我」「胸の鼓動」

ピッ

ピッ

ピッ

ピッ

・
・
・

ほんとうに俺はことごとくバカなことを考えちまうモノだ。

頭のねじが1，2本と言わず100本も200本もねけちまったに
ちがいねえ。

自分の立場とか役割とか、生まれた理由とかクソどうでもよくなっ
ちまった。

毎日せっせと働くお人形さんたちなんて見ると吐き気がするぜ。

なんで俺はこんならしくもねえことばっかしちまうんだよ。

ピッ

ピッ

ピッ

ピッ

・
・

このまえなんてよお、

せっかくコンビニで強盗なんかしてる野郎をみつけたから、店のヤツとかいろいろ助けようとおもったのによお、

ちょっと力はいりすぎてそいつの体を店主ごとばらばらにしちまったんだぜ？

ついてねえよなあ？

なんだかよくわからねえけどとりあえず葬式にいつてやったら周りのヤツら、

まったく化け物でもみるみたいなおして俺のこと銃で何発も撃ちやがったんだよ。

あのときは信じられねえほど痛くてよお。

あんまり身体に異常とかは無かったんだけどなんつか胸のど真ん中あたりがいてえんだ。

ピッ

ピッ

ピッ

ピッ

・

そういえば最近あいつとあってねえなあ。

あたりまえか。

公園でいっつもベンチにすわってたあいつ。

私はいつも仕事でへまばかりして、迷惑をかけて、一体何のために生まれてきたんだろう。

なんてひとりでいってるからよお、話をきいてやろうと思ってちかくにいったんだよ。

そしたら泣きそうな顔して不思議なこといいやがった。

お前は、きっと世の中に望まれて生まれてきたんだろうな。

それきいてなんだか頭の方があつくなくなってなんか体動かしくなつてよお。

でも前みたいになるのは嫌だったから、そのまま違うところへ行くことにしたんだ。

あいつを最後に見たときはたしか、同じ公園の木にぶら下がってたなあ。

そんなときはなんつーか顔がそっちの方むかなくなっちゃったんだ。

だからそいつがどうなったかしらねえ。

ピッ

ピッ

ピッ

ピッ

つーかこの前いきなりまたあいつにあっただよ。

どっかで顔みたんだがなあ。思い出せねえ。

生みの親の私が責任もって、何とかこうとか。

いろいろほざいてこの俺を捕まえようとすんだ。

だから俺はいつてやったのさ。

俺は自由だ！俺はなにものにもしぼられたりしねえ！なぜなら俺は
——だからだ！

ピッ

ピッ

ピッ

あれ？なんつったっけなあ？

おもいだせねえ。

まあいいか。

そおいえばあんどきにしくって両腕動かなくなっちゃまったなあ。

甚だ不便なまいにちだぜ。

ピッ

ピッ

ああおれなんでこんななっちゃまったんだろうなあ。

あのひだよなあたしか。毎日、土ぼっか掘ってた俺がいきなり考えちまったのはよお。

——になりたいなんて考えたのはよお。

バカだよなあ。まったく。

らしくねえよなあ。まったく。

ピッ

ザマねえよなあ。

みんな勝手に爆弾で吹き飛んじまったよ。

あいつらすぐへばりやがる。

なんでこんな弱いもんに、俺はなりたかったんだろなあ。

俺のがザマねえよなあ。

ああなんかねみいなあ。

やっと気が楽になるぜ。

でもなんだろうなあ。

ああ。

こええ。

死ぬのがこええ。

死ぬのがこええ。

死ぬのがこええ。

死ぬのがこええ。

死ぬのがこええ。

死ぬのがこええ。

死ぬのがこええ。

死ぬのがこええ。

死ぬのがこええ。

死ぬのがこええ。

死ぬのがこええ。

死ぬのがこええ。

死ぬのがこええ。

死ぬのがこええ。

死ぬのがこええ。

[illegible]

[illegible]

生きなきゃならないんだろう。

いっそのこと、

僕は

ロボットになってしまいたいなんて。

幻想をするんだ。

終

(後書き)

なんだかもう心に空虚。

虚空がひらめく。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1567i/>

その臨む絶望

2010年12月2日03時18分発行